

ルミセフ[®]を使用されている方へ

乾癬と治療薬ルミセフ[®] について知っていただきたいこと

監修

名古屋市立大学大学院医学研究科
加齢・環境皮膚科学 教授
森田 明理 先生



乾癬治療に取り組んで 自分が望む生活を

乾癬治療の原則は症状をコントロールすることですが、ただ症状をコントロールすればよいというわけではありません。

治療で大切なことは、**症状の改善を通して自分の望む生活の質を保つ**ことです。新しい治療を始めるにあたり、自分が望む生活はどのような生活なのかを改めて考えて、主治医に相談してみましょう。

このパンフレットでは、ルミセフ® が効果を発揮するメカニズムや投与方法、投与時の注意点などについて、紙面の許す限り記載しました。薬物治療で大切なことは治療薬について正しく知り、正しく使うことです。わからないことがあれば、主治医や医療スタッフにぜひ質問していただきたいと思っています。

主治医の指導のもと、乾癬治療に前向きに取り組んでいきましょう。

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 教授

森田 明理

自分が望んでいる生活が どんな生活なのか改めて考えてみましょう。

人の視線を気にせず、
生活したい



ファッションを
楽しみたい



症状を気にせず、
仕事や趣味に打ち込みたい



友達や家族と
楽しい時間を過ごしたい

乾癬の症状について

乾癬は皮膚に炎症が現れる慢性の病気です。

皮膚が赤くなる紅斑、皮膚が盛り上がる浸潤・肥厚、皮膚の表面に粉のような銀白色のものができる鱗屑、鱗屑がふけのように落ちる落屑といった皮膚症状が現れ、かゆみを伴うこともあります。

【乾癬の種類】

乾癬は症状別に次の5種類があります¹⁾。

1)小宮根真弓, 多田弥生, 森田明理(編著). 困ったときに役立つ STEP UP 乾癬診療. 東京:メディカルレビュー社; 2019



尋常性乾癬

乾癬全体の9割がこのタイプです。皮膚に紅斑や鱗屑がみられます。



乾癬性関節炎 (関節症性乾癬)

皮膚症状のみでなく、手先や足先に近い関節に痛み、腫れ、変形などが現れます。



膿疱性乾癬

発熱や全身の倦怠感、悪寒とともに全身に紅斑や膿疱が現れます。国の指定難病です。



滴状乾癬

体幹や手足に鱗屑を伴う小さな紅斑が現れます。比較的若い患者さんに多い乾癬です。

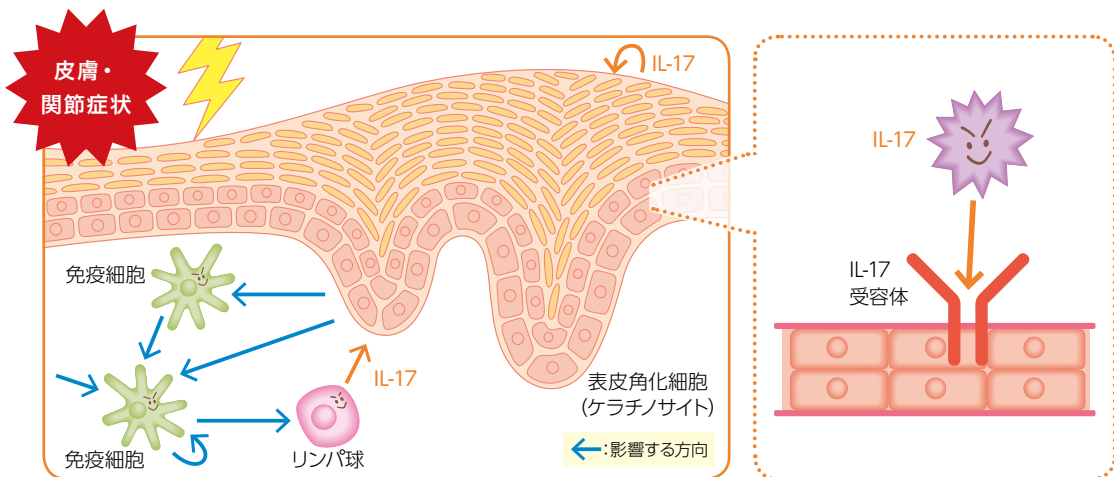


乾癬性紅皮症

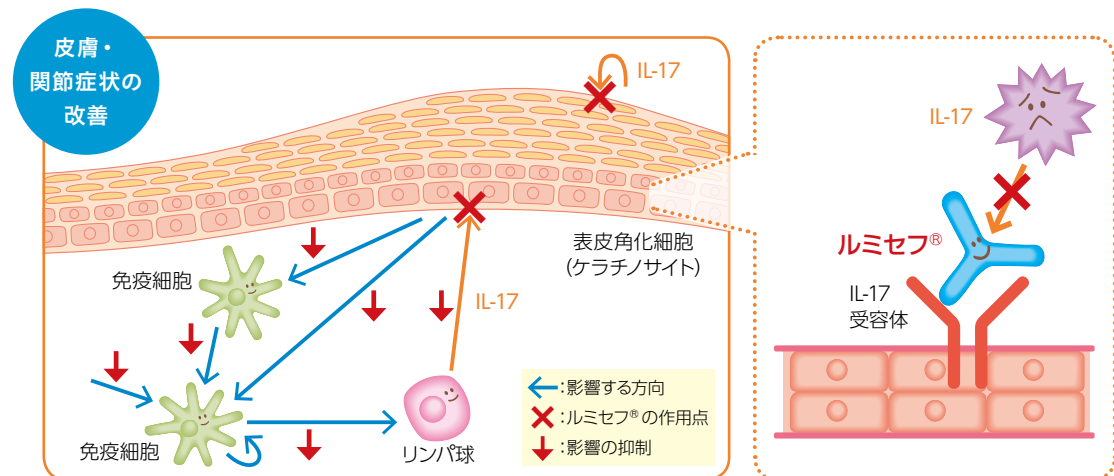
乾癬の皮膚症状が体中に広がり、全身の8割以上が赤くなります。尋常性乾癬や膿疱性乾癬から移行します。

写真提供：森田明理先生(名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学教授)

乾癬の病態とルミセフ® について



乾癬は、細菌やウイルスから体を守る免疫というしくみが過剰に働くことによって起こります。免疫細胞から放出されるインターロイキン-17 (IL-17)は、皮膚の細胞に存在する受容体に結合し、皮膚や関節に炎症を引き起こす物質を放出させます。皮膚の細胞はIL-17の刺激によって増殖し、免疫細胞にさらにIL-17を放出するよう促します。



ルミセフ® はIL-17受容体に結合することにより、IL-17の働きを抑え、皮膚の炎症を抑えたり、関節症状を改善することが期待されます。IL-17の働きが抑えられると、皮膚の細胞の増殖や炎症を引き起こす物質の放出がおさまります。新しいIL-17は放出されなくなり、受容体に結合するIL-17も減っていきます。

【ルミセフ®の適応症】 既存治療で効果不十分*な下記疾患

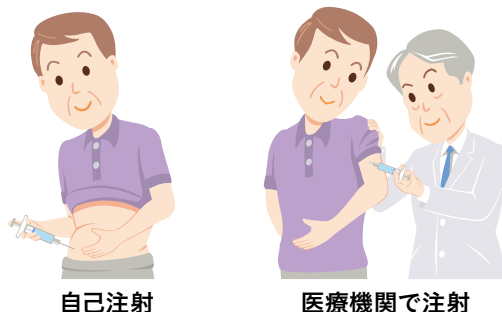
- 尋常性乾癬
- 関節症性乾癬
- 膿疱性乾癬
- 乾癬性紅皮症

*光線療法を含む既存の全身治療（生物製剤を除く）で十分な効果が得られず、皮疹が体表面の10%以上に及んでいる。または、難治性の皮疹、関節症状、膿疱のいずれかが認められる。

ルミセフ®の投与方法

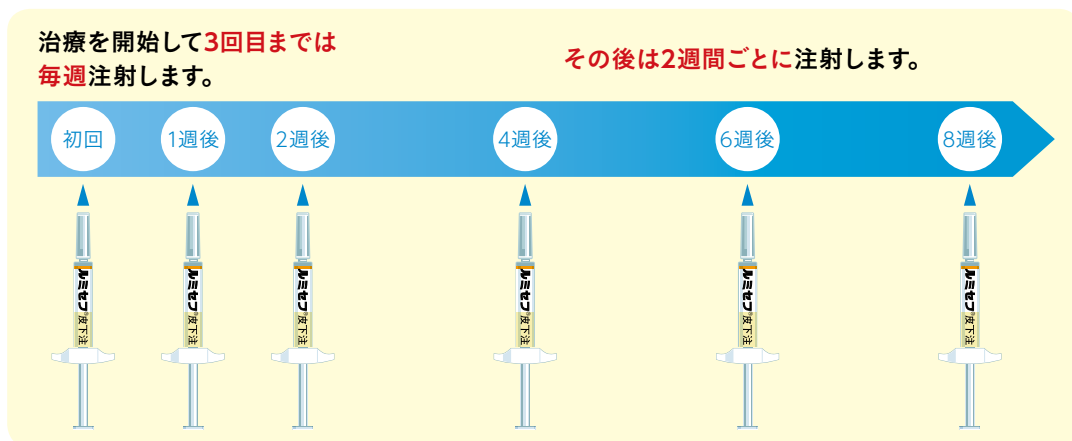
【ルミセフ®の投与方法】

ルミセフ®は医療機関での投与のほか、自己注射による投与ができます。自己注射は、あなたがルミセフ®の投与と起こりうる副作用についてよく理解し、ご自身で投与できると主治医が判断した場合に可能です。



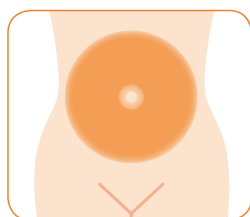
【ルミセフ®の投与スケジュール】

ルミセフ®は1回につき1本を注射します。注射する時間は何時でもかまいません。



【ルミセフ®の注射部位】

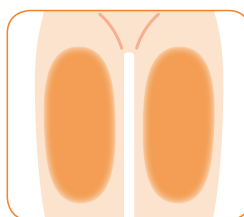
ルミセフ®は「腹部」^{しょうわん}「上腕部（二の腕）の外側」^{だいたい}「大腿部（太もも）」の乾癬の症状や傷がない部位に注射します。また、同じ個所に繰り返し注射せずに、毎回少しずつずらして注射します。



腹部



上腕部（二の腕）の外側
*ご家族が注射される場合



大腿部（太もも）

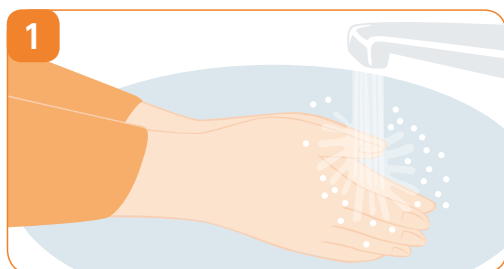
※脂肪の多い個所への投与が推奨されます。

【ルミセフ®の自己注射】

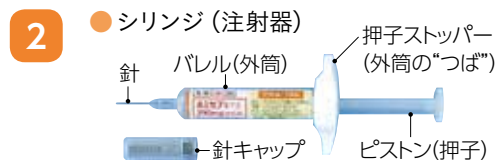
ルミセフ®の自己注射の開始が決まったら、まず主治医や医療スタッフから自己注射についての説明を受けることになります。自己注射に必要な器具や説明用資料が入ったスターターキットが用意されていますので、受け取りましょう。

自己注射を適切に投与できる補助具もあります。詳細は主治医にお訊ねください。

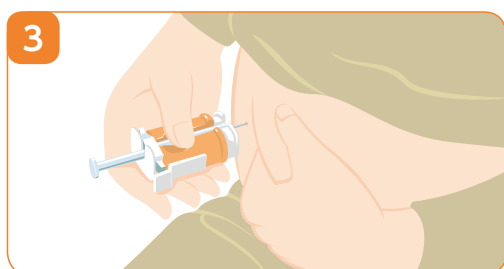
準備するもの



手を洗います。



注射器を取り出し補助具にセットします (シリンジの部品が揃っているか、薬液が漏れていないか確認しましょう)。補助具を用いずに注射することもできます。



アルコールで消毒し、皮膚をつまみ補助具をしっかり押しあてます。針をさしたら皮膚をつまんでいた手を離し、注射します。注射が終わったら、アルコール綿で押さえます。



使用済のシリンジは廃棄ボックスに廃棄します。

自己注射の詳細と注意点については、「自己注射ガイドブック」を用意しておりますので、そちらをご覧ください。

治療に際して必要な問診・検査

【問診】

治療を始める前に、合併症、既往歴、治療歴、家族歴などについて確認します。

【検査(治療前・治療中)】

治療前と治療中には、定期的に結核検査を含む血液検査、尿検査、胸部の画像検査を行います。

検査の内容

内容	何を調べるか
血液検査	<ul style="list-style-type: none">・炎症を起こしていないか・血液の病気がないか・真菌に感染していないか・間質性肺炎を合併していないか・膠原病を起こしていないか・B型肝炎に現在感染していたり、過去に感染しなかったか・C型肝炎に現在感染していたり、過去に感染しなかったか
尿検査	<ul style="list-style-type: none">・蛋白、尿糖、潜血、合併症などがいないか
結核検査	<ul style="list-style-type: none">・ツベルクリン反応：結核に感染していないか・血液検査：結核に感染していないか
画像検査 (胸部X線、胸部CT)	<ul style="list-style-type: none">・病原菌(または微生物)の有無、肺炎、間質性肺炎を起こしていないか・結核に感染していないか



ルミセフ[®] 治療中の注意点(気をつけること)

【日常生活】

ルミセフ[®] を使用している間は感染症にかかりやすくなる場合があります。普段から感染症の予防に努めましょう。



【予防接種】

ルミセフ[®] を使用している間は生ワクチンの接種ができません(不活化ワクチンの接種は可能です)。詳細は主治医に相談してください。

接種可 (不活化ワクチン)	<ul style="list-style-type: none">・肺炎球菌・インフルエンザ など
接種不可 (生ワクチン)	<ul style="list-style-type: none">・BCG ふうしん・風疹 みずぼうそう・水痘 ほしか・麻疹・麻疹・風疹混合 (MR)・おたふくかぜ など



【妊娠・授乳】

妊娠を希望される方、妊娠されている方、授乳している方は主治医に相談してください。

乾癬の患者さんが日常生活で気をつけたいこと

規則正しい日常生活を心がけましょう。気になることがあったら、主治医に相談し、自分にあった健全なライフスタイルを考えましょう。

皮膚への刺激を避ける

ひっかくなど刺激を与えたり、体を強く締め付ける衣服は避けるようにしましょう。入浴時もゴシゴシ洗うことは避け、入浴後は保湿剤を使用して乾燥を防ぎましょう。



バランスのよい食事を

野菜や魚を中心とした低脂肪食やバランスのよい食事をとるようにしましょう。アルコールや刺激物は控えめにし、禁煙・節煙を心がけましょう。



ストレスを避ける・ためこまない

ストレスはためこまず、自分なりの解消法を見つけましょう。



適度な運動をする

生活習慣病の予防のためにも、ウォーキングなどの適度な運動をしましょう。



外気浴をする

戸外の新鮮な空気や太陽の光を浴びましょう。強い日光は避けましょう。



他の薬の影響

他の病気で服用している薬があれば、そのことを主治医に伝えましょう。また、他の病気で治療を受ける場合は、乾癬の治療中であることと治療内容を医師に伝えましょう。

ルミセフ[®]の副作用について

ルミセフ[®]を注射した後に、「いつもと何か違う」と感じたら、速やかに病院に連絡してください。特に次のような症状が現れた場合には、**次の受診日を待たずに、すぐに主治医や医療スタッフに連絡してください。**

重大な副作用

特に注意していただきたい重大な副作用と、その症状を示します。それぞれの副作用ごとに記載した症状のうち、いくつかの症状が同時期に現れるのが一般的です。

	主な症状
重篤な感染症	かぜのような症状（咳がつづくなど）、身体がだるい、発熱、嘔吐など
好中球数減少 [*]	発熱、のどの痛みなど
重篤な過敏症	さむけ、ふらつき、異常に汗をかく、発熱、意識がうすれる、口唇周囲のはれ、息苦しい、かゆみ、じんましん、発疹など

^{*}好中球は白血球の一種ですが、白血球には私たちの体を病原菌から守る働きがあるため、白血球が減少すると、感染症にかかりやすくなります。

過敏症

息苦しい



口唇周囲のはれ



かゆみ、
じんましん、発疹



さむけ、ふらつき、
異常に汗をかく、意識の低下



感染症

かぜ症状
(咳やくしゃみ)



身体がだるい



発熱



口の中の粘膜の痛み、
胸やけ、胸の痛み(カンジダ)



そのほかにも気になる症状があれば、主治医に相談してください。

乾癬治療にかかる医療費の軽減制度

日本の公的医療保険制度では、高額な医療を受けることになった場合、患者さんの負担を軽減するために、さまざまな制度が設けられています。

【高額療養費制度】

ひと月（月の1日から末日まで）の医療費の上限額を定め、上限額を超えた部分を保険者（公的医療保険等の運営団体）が負担する制度です。上限額は次ページの表のように患者さんの年齢と世帯ごとの収入を目安として設定されています。

世帯合算：同じ医療保険の「保険証」を持つ方であれば、同じ月に支払った医療費を合算して判断してもらえます。

多数回該当：過去12ヵ月以内に3回以上上限額を超えていると、4回目から負担の上限額が引き下げられます。

高額療養費制度の利用・詳細については、ご加入の保険者にお問い合わせください。

高額療養費制度のご利用手続き

この制度についてのお問い合わせ先は、患者さんがお持ちの保険証（被保険者証）で確認できます。申請に必要な書類は保険者によって異なりますので、確認が必要です。

窓口や電話でご相談される場合には、「高額療養費の申請」に関する相談であることをお伝えください。お問い合わせの前に、確認したいことをメモしておくとういでしょう。

なお、一般的に高額療養費が支給されるまでには、受診した月から少なくとも3ヵ月程度かかります。

限度額適用認定証（認定証）

医療機関や薬局の会計窓口で自己負担限度額のみを支払いとするための認定証です。**年齢や所得によっては交付申請が不要になる場合もあります。**詳しくはご加入の保険者にお問い合わせください。

【医療費控除】

1年間に支払った医療費の総額が一定額を超えるとき、確定申告を行うことで所得控除を受けることができる制度です。

詳しくは国税庁や税務署にお問い合わせください。

【付加給付】

各保険者が独自に1ヵ月間の自己負担限度額を決め、超過分の医療費を払い戻す制度です。制度の有無・内容は保険者によって異なります。詳しくは保険者にお問い合わせください。



(参考)高額療養費制度における自己負担限度額

2020年8月現在

高額療養費制度の自己負担限度額は年齢や所得水準によって異なります。

69歳以下の方の上限額

適用区分	ひと月の負担上限額 (世帯ごと)	多数回該当の場合
ア 年収約1,160万円～ 健保：標報83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円+ (医療費-842,000)×1%	140,100円
イ 年収約770～約1,160万円 健保：標報53万～79万円 国保：旧ただし書き所得600万～901万円	167,400円+ (医療費-558,000)×1%	93,000円
ウ 年収約370～約770万円 健保：標報28万～50万円 国保：旧ただし書き所得210万～600万円	80,100円+ (医療費-267,000)×1%	44,400円
エ ～年収約370万円 健保：標報26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円	44,400円
オ 住民税非課税者	35,400円	24,600円

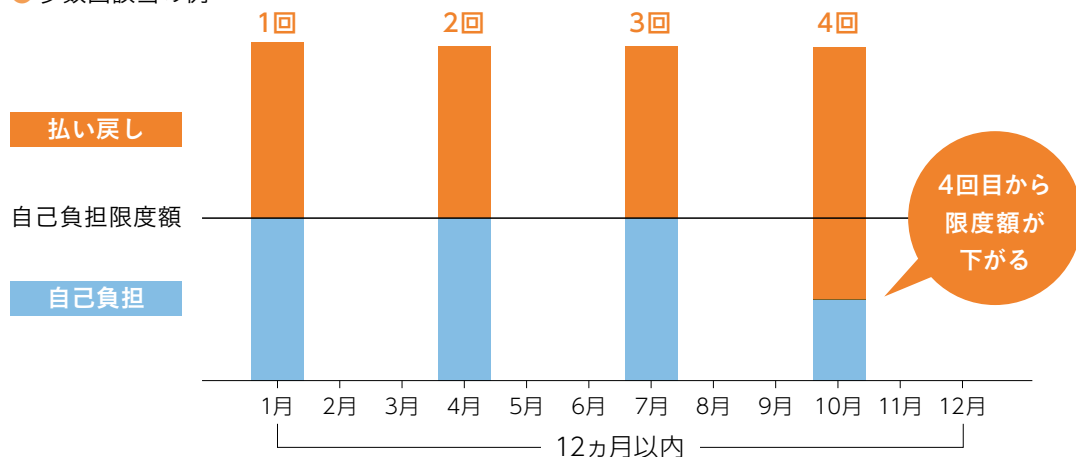
厚生労働省ホームページより作成。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuhoken/juuyou/kougakuiryou/index.html

多数回該当

医療を受けた月以前の12ヵ月以内に、同一世帯で高額療養費の支給回数が4回以上となる場合(多数回該当)、4回目からは自己負担限度額が下がり、自己負担がさらに軽減されます。

● 多数回該当の例



※70歳以上の住民税非課税区分の方は多数回該当の適用対象外となります。

※高所得者の場合、ひと月の負担上限額が高いため、同じ治療を受けていても、多数回該当が適用されない場合があります。

患者さん向けWebサイトのご紹介

乾癬やルミセフ®についてもっと詳しく知りたい方のために、下記Webサイトにて情報提供を行っています。

乾癬情報ナビ

乾癬についてのちょっとした疑問や日常生活での注意点などについてまとめています。これから治療を始められる方も、すでに治療を受けられている方も、ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.kyowakirin.co.jp/kayumi/kansen/>



SORA～晴れやかソライアシスライフ～



日常の食事や運動などの習慣を見直すことで、治療効果や症状に影響が出ることもあります。無理のない運動法やラクラクレシビ等の情報を掲載しています。

※ソライアシス：乾癬のこと

<https://www.kyowakirin.co.jp/kayumi/kansen/sora/>

ルミセフ®を使用されている方へ

「ルミセフ®ってどんな薬?」「普段は何に気を付ければいい?」などの気になること、高額療養費制度などの詳しい情報を掲載しています。また、「お役立ち情報」のページでは他の冊子のダウンロードも可能です。

<http://www.lumicef.jp/lumicef/>



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

病医院

担当医
